

キ恐怖感ヲ装ヒ當方並ニ海軍ヲ動かサントシ勝手氣儘ノ言動ヲ爲シツツアリ

(二)前記諸事情ヲ綜合考察スルニ今次事件ノ犯人ハ必スシモ支那人ナリトノミ斷シ得サルカ如ク假ニ下手人ハ支那人トスルモ元兇乃至黒幕ハ意外ノ方面ニアルニハアラスヤト推測セラレ其ノ方面ヲモ極秘調査中ノ處偶々廿六日本官脅迫ヲ目的トスル投書ヲ緝私處名義ニテ籍民等數箇所ニ發送セル事件アリ文意筆跡ヨリ見テ明カニ籍民某ノ所爲ト認メラレ前顯嫌疑ハ更ニ裏書セラレタル次第ニテ所謂「頭隠シテ尻隠サス」ノ例ト謂フヘク斯クテ今次事件カ萬一福州事件ノ二ノ舞ナルニ於テハ支那側ニ對シ餘リニ強硬ニ出テ後テ引込ノ付カサル如キコトアリテハ我方威信ヲ失墜スル惧アリ將又上海水兵射殺事件ノ例ニ徴スルモ支那側ハ所詮支那人犯人ヲ出スコト先ツ絶無ト見テ差支ナカルヘシ一方今回ノ事件ニ付市長ハ既ニ遺憾ノ意ヲ表シ責任ヲ痛感シ居ル次第(往電第一二號)モアリ旁潮時ヲ見計ヒ適當ノ條件ニテ一先ツ兇ヲ付クルコト大局上得策ナランカト思考セララル

支、廣東、南京へ轉電セリ

ノ内查モ怠ラス折角眞相糺明ニ努メ居レリ

(四)海軍側ノ極秘情報ニ依レハ陳濟棠ハ近頃我海軍ト頻リニ接近ヲ希望シ居ルヤニテ角田事件ニ付テモ速ニ解決ヲ計ル様當地官憲ニ指令シタル趣ナリ

(五)就テハ司令長官二月四日ヨリ七日迄廣東ニアル由ニ付夫迄ニ先方ノ出方次第ニテ(イ)相當額ノ香奠ヲ出サセルコト又ハ(ロ)貴電第七號御來示ノ御趣旨ニ依リ懸賞捜査等ノ方法ニ依ル誠意ノ措置ヲ要望シタル上往電第八號申入ノ二點ヲ重ネテ嚴重ニ警告スルコトニテ一先ツ區切ヲ付クルコト事件ノ性質並ニ機微ナル日支關係ノ現状ヨリ見テ大局上如何カト存セラル

支、南京、廣東へ轉電セリ

483 昭和11年2月7日 広田外務大臣より 在汕頭原田領事宛(電報)

汕頭邦人巡査射殺事件に關し相當額の弔慰料 提供をもつて事件解決方回訓

第一〇號(至急、極秘)

本省 2月7日午後8時40分發

482 昭和11年2月1日 在汕頭原田領事より 広田外務大臣宛(電報)

汕頭邦人巡査射殺事件に關し相當額の弔慰料 提供をもつて事件解決を図るべき旨請訓

汕頭 2月1日夜發 本省 2月1日夜着

第二五號(至急、極秘)

貴電第七號及往電第二四號ニ關シ

(一)先方ニテハ管内ノ一事件トシテ既ニ二十四日附公文ニテ極メテ遺憾ノ旨ヲ述ヘ次ニ葬式ニハ高參事ヲ參拜セシメ邦人居住附近ニハ私服密偵ヲ配シ舊止ニ拘ラス一般ニ夜間ノ爆竹ヲ禁シ當館界限モ相當ニ警戒シ居ルヲ認ム

(二)支那側ハ既ニ秘密裡ニ五百圓ノ懸賞附ニテ活動シ居ル模様ナルカ本件ノ如キ重大事件ノ眞犯人ハ到底之ヲ出タスカ如キコトナカルヘク又若シ背後關係カ冒頭往電ノ方面ニ聯絡アリトセハ犯人ヲ出タサレテ却テ我方ハ窮地ニ陥リ將來我(脱?)ニモ係ハリ面白カラス

(三)惟フニ斯ル重大事件ノ處理ニハ綿密周到ナル用意ノ下ニ萬遺漏ナキヲ期スル要アルハ申ス迄モナク從テ籍民方面

貴電第二五號及第三八號ニ關シ

一、支那側ノ態度及貴地方ニ於ケル機微ナル事情等ニ鑑ミ此際冒頭貴電第二五號(五)ノ趣旨ニ依リ妥結ヲ計ルコト機宜ニ適スト思考セラルルニ付テハ貴官ハ改メテ大局上ノ見地ヨリ(犯行等ニ關スル從來ノ論議ニ深入リスルコトナク)貴電第八號ノ二要求ヲ提出セラルルト共ニ引續キ嚴重ナル態度ヲ以テ支那側ノ出方ヲ監視スルコトト致度
二、支那側ノ金額提供ノ件ニ關シテハ犯人逮捕ノ上何分ノ要求ヲナスヘキ筋合ナル處右正式要求ノ問題ヲ離レ差當リ此際香奠等ノ名義ニテ相當額(結局犯人判明セサルヘク事實上右カ正式ノ弔慰料トナルヘシト思考セラルルニ付最小限度一萬元位ト致度)ヲ支出セシムル様御盡力アリ度

三、本件ニ關シ内地方面ニハ左シタル反響ヲ認メス 上海、南京、廣東へ轉電セリ 上海ヨリ支へ轉報アリ度

484 昭和11年5月2日 在汕頭原田領事より 有田外務大臣宛(電報)

金策難を理由とした弔慰料減額要請など汕頭
市政府側の誠意なき態度に鑑み期日を限りわ
が方提示額応諾方要求について

汕頭 5月2日後発
本省 5月2日後着

第六七號(至急、極秘扱)

往電第六六號ニ關シ

百万手ヲ盡シタルモ先方ハ金策難ヲ口實ニ漠然減額方ヲ要
請スルノミニテ何ノ程度迄ナリヤ私案スラ示ササルハ表面
誠意ヲ装ヒ實ハ同一問答ヲ繰返シテズルズルニ引張ラント
スル底意ナルカ如ク此ノ儘ニテハ到底終結ノ見込ナキモノ
ト認メラレタルニ付一日附公文ヲ以テ左ノ通告ヲ發シ先方
ノ態度ヲ監視スルコトトセリ(海軍側ト打合濟)

(一)我方ノ提示セル弔慰金額提供ノ諾否ヲ五月二日午後六時
迄ニ回答スルコト

(二)満足(ナル)回答ナクハ無誠意ト看做シ從テ支那側ノ公安
維持ニ信賴シ難キヲ以テ本件犯行捜査ト邦人ノ生命財産
保護ノ爲我方ハ適當ト認ムル方策ヲ講スルノ已ムナキニ
至ルヘキコト

裕ナキヲ以テ右金額ニテ折合フ様同領事ニ忠告シ吳レ間敷
キヤトノコトナリシヲ以テ吉竹ハ右申出ハ陳濟棠乃至ハ省
主席ノ意嚮ヲ齎シタルモノナリヤト尋ネタルモ明答セサリ
シ趣ナルカ吉竹ハ支那側今日迄ノ怠慢ヲ責メ原田領事ノ要
求通り見舞金ヲ支出シ本件ヲ即決スル方可ナルヘシト應酬
シ置キタル由ナリ右ノ如キ強硬要求ニ付海軍側ハ本省並ニ
出先上級機關カ肚ヲ決メテノ一致ノ同意ヲ與ヘタルモノナ
リヤ乃(至)ハ十三驅逐(隊)ノ司令限リノ同意ナリヤ詳ナラ
サレトモ當方面軍政界ノ對日空氣ハ最近一箇月ノ間ニ急速
ニ惡化シ居ルヲ以テ
本件通牒ハ相當「センセーション」ヲ捲起スヘク一方支那
側ハ恐ラク汕頭ニ兵力ヲ集中スル等警戒ヲ嚴ニシ今後我方
ノ出方ヲ注視シツツ徐ニ對處スルノ策ニ出ツヘシ因二十三
驅逐隊司令發當地海軍武官宛電報ニ依レハ電文要處漏シ
文意明瞭ヲ缺クモ要求條件ト覺シキモノニ項アリ第一項期
日ノ點ハ冒頭電ト一致スルモ第二項ハ期限ニ到ルモ我方ノ
満足スル回答ヲ(爲サ)サルトキハ市政府側ニ誠意ナキモノ
ト認メ本件ヲ廣東政府ニ移牒シ(他ノ海軍電ニ依レハ右ハ
廣東省政府トノ直接交渉ニ移ストノ意味合ノ如シ)同時ニ

(三)右ノ場合發生スルコトアルヘキ事態ノ責任一切ハ支那側
ニアルコト

(四)本件調査ノ結果何分ノ要求ヲ爲スコトアルヘキコト
支、廣東、南京へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

昭和11年5月2日
在広東河相總領事より
有田外務大臣宛(電報)

汕頭市政府への弔慰金額応諾要求を撤回ある
よう甘介侯が秘書を派遣して要望について

広東 5月2日後発
本省 5月3日前着

第一〇五號(至急、極秘)

汕頭發閣下宛電報第六七號ニ關シ

本二日兩廣外交特派員甘介侯代理トシテ秘書本官ヲ來訪シ
(吉竹代リテ面接ス)本件ニ關シ原田領事ヨリ本日午後六時
迄ニ回答ナキニ於テハ自由行動ヲ執ルヘキ旨申越アリタル
カ貴我國交ノ親善ニ鑑ミ右ハ撤回アリ度ク尙見舞金一千圓
ハ汕頭市慈善團體ヨリ醸出スルモノニテ市政府ニハ左ル餘

邦人保護ニ關スル必要ニ應シ領事警察權ヲ行使スヘキコト
ヲ附言ストアリ冒頭電ト内容著シク符合セス且右ハ其ノ後
ノ電報ヲ以テ取消サレ居リ其ノ冒頭電ノ如ク打合ヲ遂ケタ
ル旨ノ電報ナキ由聊カ解シ兼ヌルモ御參考迄
支、南京、汕頭へ轉電セリ

昭和11年5月3日
在汕頭原田領事より
有田外務大臣宛(電報)

わが方の弔慰金額応諾要求に対する汕頭市長
の誠意なき回答振りについて

汕頭 5月3日後発
本省 5月3日夜着

第六八號(至急、極秘)

往電第六七號ニ關シ

二日午後英、米、佛領事來訪今夜市内ニ戒嚴令ヲ布ク模
様ニテ右ハ角田事件ニ關聯シ居ルトノ噂アル處差支ナク
ハ事件ノ成行ヲ話サレ度シト語リタルヲ以テ支那側不信
ノ態度ニ付詳説シ今回ノ處置ノ已ムヲ得サルニ出テタル
所以ヲ説明シタルニ之ヲ諒トセリ

三 同夜戒嚴令云々ハ風説ニ止マリ市中ハ平日ト異ラス
 三 二日夕刻市長ハ公文ヲ以テ「是迄自分ノ述ヘタル所ハ未
 タ充分ニ了解セラレ居ラサルカ如ク遺憾ナリ双方從來ノ
 睦誼ヲ顧念シ考慮ヲ加ヘラレンコトヲ切望ス蓋シ誠ヲ披
 瀝研究スルニ於テハ自分ハ虚心之ヲ接受セサルニアラス
 云々」ト回答越セルカ右ハ妥結難ノ責ヲ我方ニ負ハサン
 トスル狡キ筆法ナルノミナラス廣東發閣下宛電報第一〇
 五號ニ依ルモ慈善團體カ當ノ責任者ナルヤノ錯覺ニ引摺
 リ込ミ其ノ寄附額一千元ヲ以テ限度ト爲シ居リ益々誠意
 ノ認ムヘキモノナキ次第ニ付考慮ノ餘地ナク冒頭往電ノ
 態度ヲ持續致スヘシ
 支、南京、廣東へ轉電セリ
 支ヨリ上海へ轉報アリタシ

487 昭和11年5月6日

在汕頭原田領事より
 有田外務大臣宛(電報)

汕頭市長の誠意なき回答振りに鑑みわが方警
 察権の拡張を図りつつ現地解決に努力すべし
 旨意見具申

リ見テ俄ニ反省シ我要求ニ應スルモノトハ期待シ難ク之
 ハ時日ノ遷延ヲ有利トスル常套手段ト見ラレ殊ニ千弗ノ
 「ベーシス」ニテ慈善團體ヲ矢面ニ立テ泣事ヲ繰返スカ
 如キハ名目ノ何タルヲ問ハス公金支拂ノ意思ナキ(往電
 第五九號)(一)證左ニシテ此ノ場合我警察權ノ擴張ヲ計
 リ往電第三五號先方ノ痛イ所ヲ突ク外ナカルヘシ、甘介
 侯ノ言フ「自由行動」云々ノ如キ元來事物ノ洞察力ヲ缺
 キ誇張ノ言ヲ弄スル支那人通有性ノ現レニシテ字義ノ解
 釋ハ先方ノ自由ナルカ之ニ依リ兎ニ角今回ノ處置ノ相當
 效目アリタルヲ窺フニ足リ今後ノ對策上ニモ資スル所ア
 リ

(三)實情右ノ通ナルニ付先方カ態度ヲ改メ我要求ニ應スルノ
 誠意ヲ示ササル限り當分既定ノ方針ニテ進ムヲ可ト思考
 ス

(四)就テハ此ノ際有能ナル警察官(内地人)差當リ二名増員方
 御詮議相成度シ

支、廣東、南京へ轉電セリ
 支ヨリ上海へ轉報アリタシ

第七二號(極秘)
 貴電第二一號ニ關シ

汕頭 5月6日後発
 本省 5月6日夜着

(一)支那側カ本件ヲ省政府ニ移サントスル意嚮ヲ洩ラシ我
 求ノ緩和ニ資セントシタルハ累次ノ拙電(第四四號、第
 四六號)ニ依リ明カナルカ其ノ間公私ノ會談ニ於テモ屢
 之ヲ口ニシ現ニ最近數次ノ會見ニ於テ「昨今不況ノ爲當
 地慈善團ノ寄附額ハ一千元程度ニテ此ノ上ノ金策ニ付テ
 ハ省當局ノ指令ヲ仰ク外ナシ」ト繰返シタルニ付元々現
 地解決ニ努力シ來リ今モ猶其ノ方針ニ變リナキハ御承知
 ノ通ナルカ先方ニ於テ牽制策ノ積リニテ之ヲ省政府ニ移
 サントスル以上其ノ手ニ乘ルハ面白カラス依テ「省政府
 ニ移ルコトアルモ已ムヲ得サルヘシ」トノ意見ニテ往電
 第六七號ノ處置ニ出テタル次第ナリ從テ廣東發閣下宛電
 報第一〇五號括弧内「海軍電云々」ハ勿論右ノ意ト解サ
 ル

(二)二日市長回答(往電第六八號)後ノ情報ニ依レハ先方ハ
 「金額ニ拘泥セス會談續行ノ意思」アルラシキモ現狀ヨ

488 昭和11年7月11日

在汕頭原田領事より
 有田外務大臣宛(電報)

汕頭邦人巡查射殺事件に關し相當額の弔慰料
 提供をもつて解決交渉妥結について

汕頭 7月11日前発
 本省 7月11日前着

第八五號(至急、極秘)
 往電第七二號ニ關シ(角田巡查射殺事件)

既定方針ニテ進ミ先方ノ反省ヲ促シ來レル處支那側ハ其ノ
 後頻發スル各種案件ノ處理ニモ不利ヲ感シタル模様ナルニ
 加ヘ香港新聞等ノ記事(日本ハ警察權ノ擴大強化ヲ圖ル汕
 頭ニ日本租界ヲ設定シ又潮州ニ本願寺ヲ建設シテ日本勢力
 扶植ノ計畫アリ日領ハ犯人捜査ニ二千弗ノ懸賞ヲ附シタリ
 等)ハ却テ刺戟劑トナリタルモノノ如ク何トカ本件ヲ片付
 ケ度シトノ意嚮ニ傾キタルヤニ認メラレシヲ以テ隨時非公
 式折衝ヲ試ムル一方十三驅逐隊西岡司令ノ斡旋モアリ九日
 ニ至リ額面廣東大洋五千弗内四千二百弗ハ現金提供八百弗
 ハ當方ヨリ支那側慈善機關ニ寄附ノ形式ニテ先方ハ解決シ
 度キ腹ヲ示スニ至レリ右ハ從來ノ經緯上決シテ満足トハ申

シ難キモ此ノ上ノ遷延ハ各般ノ事情ヨリ推シ面白カラサルニ付弔意料ニ關スル限り大體此ノ邊ニテ手打トスル外ナカルヘク尤モ將來ノ爲額面丈ケニテモ成ルヘク多額ニ取極メ置キ度キ腹ニテ此ノ點引續キ交渉中ナリ

支、廣東、南京へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

編注 本電中国側提案のとおりに解決することで日本側が応諾し、昭和十一年八月四日現金受領、同二十九日に右

弔慰金は遺族に交付された。

~~~~~

489 昭和11年7月12日 在南京須磨總領事より 有田外務大臣宛(電報)

上海における本邦商人蒼生殺害事件の發生に

關シ中国政府の猛省を求める旨陳介へ申入れ

にこころ

付記一 昭和十一年七月十一日發在中國佐藤(愷)大使

館付武官より嶋田(繁太郎)軍令部次長他宛電

報滬普第三二番電

關聯シ日本側ノ批評モアリタルニ付特ニ徐謨次長ヲ王司法行政部長ノ許ニ派シ裁判ハ獨立公正ナルヘキハ勿論ナルモ本件カ日支國交ニ重大關係アルヲ高調シ機宜ニ適スル裁斷ヲ下ス様上海裁判所ニ訓令方申入レシメ居ル程ナルカ更ニ早速御趣旨ニ副フ様手配スヘシ

(一)蒼生事件ニ關シ上海市府ヨリ會議ノ爲來寧中ナル吳市長ニ逐一報告アリ又直接外交部ニモ同様電報アリ昨日來張群、吳鐵城ニ於テ寄々協議ノ結果市政府ニ對シ公安局長ヲ督勵犯人ノ搜查及日本居留民ノ保護ニ全力ヲ盡スヘキ旨電訓シ居ル次第ナレハ(市政府トノ來往電ヲ内示セリ)今暫ク陸戰隊及上海居留民ヲ鎮靜ナラシムル様配慮アリ度シ

ト述ヘ以上二點ニ付夫々國民政府トシテモ早速手續スヘシト答ヘタリ

三、本官ヨリ汕頭角田事件、中山事件等ト軌ヲ一ニスル蒼生事件カ發生シタルニ關聯シ國民政府ハ之カ原因ヲ如何ニ觀測シツツアルヤ率直ニ卑見ヲ言ヘハ二年前蔣汪合作ニ依リ抗日方針ヲ棄テ日支國交敦睦令ヲ發シ今日ニ至リタルモ客年秋以來ノ支那一般對日空氣ハ遺憾乍ラ明朗化セ

右事件發生につき報告

二 昭和十一年七月十一日發岩村(清)第三艦隊參謀長より嶋田軍令部次長他宛電報三艦隊第二二三番電

右事件に関する上海特別陸戰隊司令官談話

三 昭和十一年七月十一日發在中國佐藤大使館付武官より嶋田軍令部次長他宛電報滬普第三二番電 右事件被害者死亡について

南京 發 本省 7月12日夜着

第四八八號

本官發支宛電報

第五〇二號

往電第五〇〇號ニ關シ

張群ハ會議ノ爲速急面會シ難キニ付陳介ニ代ツテ會談方申越シタルヲ以テ本十二日陳ニ會見

一、貴電第一九〇號ノ趣旨ヲ嚴重ニ申入レタル處陳ハ

(一)中山事件ニ關シ數回公文ヲ以テ外交部ヨリ司法部ニ對シ慎重審理方申入レ置キタルモ最近被告人ノ鑑定書ニ

リト言ヒ難ク現ニ各地殊ニ南京ノ新聞論調ハ俄然一變シ日本ヲ敵國扱ニ論議スルモノ鮮カラス假ニ政府カ右方向ニ指導ハシ居ラサルヘキモ少クモ默認又ハ放任シ居ル狀態ナルカ如キ又各地ノ學生運動カ相當激越ナル反日宣傳ヲ實行シ是等カ最近頓ニ勵行セラレ居ル支那全般ノ軍事教練ト相俟テ容易ナラサル一般反日氣分ヲ醸成シツツアリ内政的ニ言ヘハ西南派、十九路軍等ノ反中央分子カ策動シツツアリトモ辯解セラルヘキカ要スルニ國民政府カ遺憾乍ラ敦睦令ヲ其ノ儘實行スルノ熱意ヲ缺ク點ヨリ不詳事件ノ發生ヲ見タリトモ言フヘク

此ノ點ニ付テハ支那最高當局ノ猛省ヲ促ササルヲ得スト述ヘタルニ陳介ハ緊張シテ之ヲ聞キタル後國民政府カ新聞、學生等ノ統制ニ極力對策ヲ講シツツアル實狀ヲ述ヘ特ニ昨十一日張群カ主トシテ西南問題ノ爲即チ抗日主張ヲ審議スル爲開カレタル二中全會ニ對シテ日支國交調整ニ當ルヲ不易ノ方針ト爲シ居ル旨ヲ述ヘタルニ(大臣宛往電第四八七號)滿場喝采質問スル者モ無カリシニ顧ミルモ政府ノ方針ハ不變ナルヲ信セラレ度シト苦シキ辯解ヲ爲シタルニ對シ本官ヨリ國交調整モ口ノミニテハ前述

ノ如キ本官等ノ危惧ヲ去ルニ由ナキニ付テハ今次ノ事件ニモ關聯シ一般民衆指導方等ニ關シ更ニ反省ヲ促ス旨ヲ繰返シタルニ陳ハ右ノ點ハ成程重要點ニ付詳シク報告シ置クヘシト答ヘタリ

大臣、北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ

上海へ轉報アリタシ

(付記一)

上海 7月11日午前0時0分發

軍令部 7月11日午前1時47分着

滬普第三二番電

邦人射殺事件突發

本日二〇三〇時頃狄思威路月廼家花園南側(其美路)(公安局管轄地點)ニ於テ小供連レ散步中ノ三菱商事社員萱生鑛造(二三)何者カニ後方ヨリ頭部ヲ射撃セラレ昏倒直チニ福民醫院ニ入院治療中彈丸ハ左耳後方ヨリ入り左前顎部ニ殘留シアリ生命危篤事件發生當時公安局巡捕附近ニ見當ラザリシ由總領事ヨリ吳市長ニ對シ犯人ノ捜査並ニ逮捕ヲ要求セリ。

十一日

(付記二)

出雲 7月11日後3時0分發

軍令部 7月11日後6時5分着

三艦隊第二二三番電(至急)

萱生射殺事件ニ關聯シ取敢ヘズ談話ノ形式ヲ以テ左ノ通り新聞發表ヲ爲セリ

一、上海特別陸戰隊司令官談其ノ一、

昨年十一月中山兵曹射殺事件發生以來既ニ八箇月ヲ經過シ事件未ダ解決ヲ見ザル、昨夜突然越界路ヲ去ル事遠カラザル其美路ニ於テ再ビ邦人射殺事件ガ發生シタルハ洵ニ遺憾ノ極ミデアル

其ノ二

中山事件ニ關シテハ支那官憲ハ犯人ノ檢舉スラ行ヒ得ザル實狀デアツテ工部局側ガ檢舉シタ犯人ノ裁判ニ當ツテモ支那側ガ果シテ事件ノ重大性ヲ認識シテ眞摯ナ考慮ノ下ニ慎重之ガ處理ニ當リツツアルヤヲ疑ハシムル點ガ多クアルノデ累次輕行ヲ行ツタ次第デアル

其ノ三

抑々中山事件ハ帝國海軍ニ對スル侮辱行爲トシテ我海軍

將兵ハ勿論、我が國民ノ齊シク憤激措ク能ハザル所デアルガ特ニ感情ヲ抑制シ平靜ナル態度ヲ以テ支那法憲ノ公正ナル發動ヲ待ち來ツタノデアアル

若シ本事件ノ解決ヲ有耶無耶ニ葬リ去ラントスルニ於テハ帝國海軍トシテハ到底之ヲ默視スルヲ得ナイデアロウ其ノ四

右ノ情況ニ於テ偶々今回ノ萱生事件ノ發生ヲ見ルニ至ツタノハ事極メテ重大デアリテ若シ之ヲ輕々ニ看過センカ同種事件ノ續發スルニ至ルベキハ當然ノ趨勢デアツテ警備ノ重任ヲ有スル我陸戰隊トシテハ到底斯クノ如キ現狀ヲ坐視スルヲ得ナイノデアアル此ノ際支那側ガ眞ニ誠意ヲ披瀝シテ今回事件ノ犯人ヲ速ニ檢舉スベキヲ切ニ要望ス若シ支那側ノ誠意及治安維持能力ニシテ我居留民ノ生命財産ヲ保證スルニ充分デナイト認ムル場合ニハ我陸戰隊トシテハ隨時必要ト信ズル處置ヲ執ルノ止ムナキニ至ルデアラウ

三三艦隊參謀長談

中山事件未ダ解決ヲ見ザルニ昨夜突如トシテ邦人射殺事件發生ス

三艦隊司令長官ハ今次事件ノ突發ヲ極メテ重視セラレ明日臺灣方面ニ向ケ回航ノ豫定ナリシ旗艦出雲ノ出港ヲ阻止メラレタリ。

十一日

(付記三)

上海 7月11日後4時40分發

軍令部 7月11日後7時22分着

滬第三三番電

一、萱生鑛造前電造誤リ今朝〇一〇五時死亡ス、  
二、杉原總領事代理ハ本日一一〇〇時愈市政府秘書長(吳市長補南京ニ赴キ不在)ヲ訪問シ本件ニ關シ犯人ノ捜査逮捕要求ハ勿論我方ハ極メテ重大視シアル旨ヲ強調シ警告スル處アリ右ニ對シ市政府ハ公安局長ニ對スル期限付逮捕命令(今朝零時發令)ヲ提示シ誠意アル旨ヲ表示セリ、  
三、上海居留邦人ハ寄々會合ヲ催シ居留民大會開催ヲ協議中ナリ。十一日

十一日

昭和11年7月13日

在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

萱生事件の發生に關し張群よりわが方へ遺憾  
表明について

## 第五三一號

上海 7月13日後發  
本省 7月13日夜着

十二日高宗武本使ヲ來訪シ張外交部長ノ命ニ依リ

(一)十一日二中全會ニ於テ張群ハ其ノ外交報告演說中ニ五中全會ニ於ケル蔣介石ノ訓示ト同趣旨ニテ中國ハ和平ヲ重シシ日支關係ノ調整ニ努力スヘキ旨ヲ高調シ置キタル次第ナルヲ以テ貴大使ニ於テモ右ノ趣旨ヲ諒トセラレ日支關係調節ニ盡力アランコトヲ切望スル旨

(二)張外交部長ハ今回上海ニテ發生セル萱生殺害事件ヲ遺憾トシ大ニ之ヲ憂慮シ支那側ニ於テ之カ善處ニ最善ヲ盡スヘキ旨ヲ貴大使ニ傳達スル爲來滬セル趣

ヲ述ヘタルニ付本使ヨリ之ヲ諒トスルト同時ニ此ノ機會ニ於テ最近中山水兵事件ニ對スル支那側檢察官カ無罪論告ヲ爲シタル次第ヲ指摘シ萬一本件ノ判決カ無罪トナルカ如キ

東方四十一米其美路上ニシテ現場ハ當夜檢證ヲ爲シ引續キ附近一帶ヲ搜索シタルカ藥莢其ノ他犯人ノ遺留シタル物ト認ムル何物モ發見セス

本名ハ十五歳ノ時ヨリ神戸市榮町四丁目海產物商小幡商店ニ雇ハレ奉公中昭和五年八月上海支店詰トナリ昨年七月自己ノ都合ニテ同店ヲ辭シ海產物ノ「ブローカー」ヲ始メ一月前ヨリ當地三菱商事ノ海產物「ブローカー」トナレルモノニシテ妻トノ折合惡シク昭和九年七月妻子ヲ歸國セシメ其ノ後當時「ダンサー」タリシ女ト同棲シ現在ニ至レルモノナリ

遭難當日夕食後午後八時十分頃附近居住ノ日本人友人ノ子供三人ヲ伴ヒ散步ニ出掛ケ歸途同八時三十分頃遭難シタルモノニテ遭難ノ事實ヲ知りタル内妻及右友人ノ妻女等カ駆付ケタル時ハ遭難現場ニ足ヲ西方ニ頭部ヲ東方ニ仰向ケケレ呻吟シツツアリシカ全ク意識不明ニ陥リ居タリ

右兇行附近ニ居タル女ノ證言ニ依レハ銃聲ヲ聞クト同時ニ被害者カ路上ニ倒レ其ノ直後被害者ノ後方ヨリ無帽ニテ半袖白「シャツ」ヲ着シ「シャツ」ヲ「ツボン」ノ上ニ垂ラシ色物「ツボン」ヲ穿チ跣足ヲシキ者同女ト反對ノ方向

コトアル場合ニハ相當重大ナル結果ヲ生スル惧アルヲ以テ司法當局ヲシテ慎重考慮ノ上善處スル様外交部ニ於テモ盡カセラルル様希望スル旨ヲ力説シ(本使發南京宛電報第一九〇號)之ヲ張部長ニ傳ヘラレ度シト告ケ置キタリ

尙高宗武ハ陸海軍武官ヲモ歴訪シ右同様萱生事件ニ對スル遺憾ノ意ヲ表シタル趣ニテ同人ノ來滬ハ南京政府カ今回ノ萱生事件ヲ重大視シ日本側ノ感情緩和ヲ目的トスルモノト察セラル

北平、在支各總領事、厦門へ轉電シ上海へ轉報セリ

491 昭和11年7月15日

在上海杉原總領事代理より  
有田外務大臣宛(電報)

## 萱生事件の詳細につき報告

上海 7月15日後發  
本省 7月15日夜着

## 第二八九號

往電第二六七號詳報左ノ通

萱生(本籍千葉縣山武郡大和村字小西七四〇)住居ハ支那街其美路愛思里六號)ノ遭難場所ハ越界路タル狄思威路ヨリ

(狄思威路ノ方)ニ走り去ル後姿ヲ見タリト言フ

更ニ附近居住ノ日支人數名兇行現場方面ニ當リ銃聲ヲ聞キタル者アリ又支那人孫忠珊ナル者ハ散步ノ途中數歩前ニ於テ銃聲ト共ニ日本人男ノ倒レタルヲ目撃セリト供述シ且被害者ヲ收容シタル支那人車夫二名アルヲ以テ本件ハ同所ニ於テ殺害セラレタルモノナルコト確實ニシテ一點疑ノ餘地ナシ而シテ孫ハ前記事實以外何人モ見受ケサリシト供述シ居リ事實ヲ默秘シ居ルモノト認メラルルヲ以テ此ノ點ニ付當館警察ヨリ公安局ニ對シ嚴重取調方要求セリ

本件ハ今日迄取調ノ結果ニテハ怨恨、痴情、物取等個人的關係ニ基因スルモノニ非スシテ支那人「テロ」團ノ所爲ナリトノ見込ナリ

支へ轉報シ在支各總領事及香港、北平、厦門へ轉電セリ

492 昭和11年9月12日

在上海若杉總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

萱生事件被疑者の法廷証言によつて判明した  
事實關係につき報告

第三九一號

上海 9月12日後発  
本省 9月12日夜着

金道權ノ公判ハ本十二日行ハレタルカ金ハ直接發生事件ニ關係セルコトヲ否認セルモ仲間ノ華克之カ劉老四ニ拳銃ヲ與ヘタルヲ目撃シタルコト、劉ヨリ蒼生ハ劉自身カ暗殺シタルモノナルコトヲ聞カサレタルコト(華克之及劉老四ハ共ニ未逮捕、往電第三五八號参照)其ノ後モ彼等一味ハ更ニ客月三日頃ヨリ北四川路一帯ニ於テ第二ノ日本人暗殺ヲ計畫シ十日實行ニ着手セントシ居タル際公安局ノ手ニ依リ逮捕セラレタルモノナルコト、其ノ第二ノ暗殺計畫ニハ金自身專ラ連絡係ヲ擔當シ居タルコト及彼等一味ノ主領タル前記華克之ハ金ニ對シ日支間ノ戰爭ヲ起サシムル爲ニ日本人ノ暗殺ヲ爲スモノナル旨ヲ語リタルコト等ヲ供述セリ判事ハ工部局側ニ對シ金及冒頭往電中山事件關係ノ三名ノ身柄ヲ暫ク工部局ニ於テ留置シ置クヘキコトヲ再應申渡シ且來週水曜日(十六日)公判續行楊文道等ト對質審問ヲ爲スヘキ旨ヲ宣シテ閉廷セリ

九、一八記念日ノ取締ニ關シ淞滬警備司令楊虎ハ吳市長トモ協議ノ上昨十五日附ヲ以テ十七日ヨリ二十日迄上海市内ニ臨時ニ戒嚴ヲ施行スル旨發表(布告文要領別電第三九五號ノ通)シ本日公安局側ヨリ當館ニ正式通知スルト共ニ嚴重警戒スヘキ旨申出アリタリ

右ニ關シ市政府員並ニ警備司令部員カ館員ニ内話スル所ニ依レハ該布告ハ中央(軍事委員會及行政院)ノ密令ニ基クモノニシテ支那側ハ既ニ兩租界當局トモ緊密ナル聯絡ヲ取り支那街、租界内トモ記念日ニ關スル一切ノ行事ヲ嚴禁シ取締ヲ勵行スル方針ナル由

尙當館警察ニ於テモ工部局警察及陸戰隊トモ聯絡シ嚴重取締勵行中ナリ  
本電別電ト共ニ北平、在支各總領事、廈門ヘ轉電シ支ヘ轉報セリ

(別電)

上海 9月16日後発  
本省 9月16日夜着

第三九五號

右金ノ供述ニ依リ

(一)蒼生事件カ支那人ノ仕業ナルコト  
(二)其ノ目的カ日支關係ヲ惡化セシメントスルニアリシコト  
(三)彼等一味カ同一目的ヲ以テ更ニ第二ノ日本人暗殺ヲ計畫シ居タルコト  
等カ明ルミニ出サレタルコトハ注目ニ値ス  
支ヘ轉報シ北平、南京ヘ轉電セリ

493 昭和11年9月16日 在上海若杉總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

九、一八記念日前後の不祥事發生を警戒して上海警備当局が市内に臨時戒嚴令布告について  
別電 昭和十一年九月十六日發在上海若杉總領事より有田外務大臣宛第三九五號  
右布告文

上海 9月16日後発  
本省 9月16日夜着

第三九四號  
往電第三八九號ニ關シ

最近九、一八記念日前後ヲ期シ反動分子カ上海市各團體ニ混入シ國家破壊ノ陰謀ヲ企圖シツツアル由ノ密報アリ嚴重防止セサレハ意外ノ事件發生ノ惧アルヲ以テ本司令ハ本市治安維持ノ見地ヨリ本月十七日以後同二十日迄戒嚴法ニ依リ上海市内ニ臨時局部的戒嚴ヲ施行シ該期間内ハ絕對ニ集會、游行、罷課、罷業、傳單撒布其ノ他一切治安ニ妨害アル行動ヲ禁止ス若シ右ニ違反スル者アラハ戒嚴令法ニ基キ嚴重制裁ヲ加フヘシ云々

494 昭和11年9月19日 在上海若杉總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

九、一八記念日当日は中国側警備当局の嚴重警戒により上海市内平穩の旨報告

上海 9月19日後発  
本省 9月19日夜着

第四〇二號  
往電第三九四號ニ關シ

九、一八當日ハ支那側ニ於テ最近稀ナル警戒振ヲ示シタル爲抗日諸團體ノ各種不穩計畫ハ殆ト抑壓セラレ市内概シテ

平穩ニシテ一部商店等カ半旗ヲ掲ケ(各公共機關等ハ市政  
府ノ通達ニ依リ全然掲揚セス)タルニ止マリ例年舉行セラ  
レタル市黨部紀念式モ舉行セラレス  
尤モ當日上海市郊外ニ豫テ建設中ノ九、一八紀念碑地鎮祭  
アリタル爲右ニ赴キタル支那民衆ト公安局員トノ間ニ小競  
合アリ又十七日夜ヨリ市内ニ九、一八抗日「ピラ」等ヲ撤  
布シ工部局及公安局ニ檢舉セラレタル者二十餘名アリタリ  
北平、在支各總領事、厦門、滿ニ轉電シ、支ニ轉報セリ  
滿ヨリ關東局總長ニ轉報アリタシ

495 昭和11年9月19日 在漢口三浦總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

漢口日本租界の近くにおいてわが方領事館警  
察官射殺事件発生について

漢口 9月19日後発  
本省 9月19日後着

第二六八號(至急)

十九日午前十一時半日本租界「バンド」ノ下端租界境界線  
ニアル第九號見張所ニ立番中勤務ノ吉岡巡查ハ一支那人ヨ

ヲ窺ヒツツアリシカ約其ノ三分ノ一ヲ吸ヒタル頃突如吉  
岡ニ近ツキ隠シ持テル拳銃ヲ取出シ極メテ近距離ニテ吉  
岡ノ左頸部ヲ狙射シタリ

ニ吉岡ハ急所ヲ射タレ其ノ場ニ昏倒即死シ犯人ハ直ニ河下  
ヘ逃走シタルカ兩露店ノ主人ハ自分等ニ後難ノ及フヲ惧  
レ屍體ヲ我見張所前迄搬入シ且店頭ノ血痕ヲ抹消セリ  
前電通り轉電セリ

497 昭和11年9月20日 在漢口三浦總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

漢口邦人巡査射殺事件に關し省政府および市  
政府へ犯人逮捕方申入れについて

漢口 9月20日後発  
本省 9月20日夜着

第二七三號

往電第二六八號ニ關シ

事件發生直後楊省政府主席及吳市長ニ對シ事件發生ノ事實  
ヲ通知スルト共ニ犯人捜査逮捕方申入レタル處何レモ之ヲ  
快諾シ吳市長ハ陳公安局長ヲ現場ニ派シ犯人捜査等ニ付我

リ拳銃ニテ左頸部ヲ狙撃セラレ即死セリ不取敢  
支、北平、在支各總領事、厦門、重慶、長沙、沙市、宜昌、  
鄭州、九江へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

496 昭和11年9月19日 在漢口三浦總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

漢口邦人巡査射殺事件の殺害状況報告

漢口 9月19日後発  
本省 9月20日前着

第二七四號(至急)

往電第二六八號ニ關シ

其ノ後ノ調査ニ依リ判明セル當時ノ状況左ノ通  
「日本租界ニ隣接セル「スタンダード」石油會社前ノ道路  
(擴張租界ニ屬スルモ租界未經營ノ爲現ニ未タ日本ノ警  
察權ヲ施行シ居ラサル箇所)ニ四、五間入りタル所ニ煙  
草ヲ小賣スル露店相並ヒテ二軒アリ吉岡ハ其ノ一軒ノ店  
ノ主人ト對話中河下ヨリ三十七、八歳ノ支那人歩キ來リ  
他ノ一ノ店ニテ煙草ヲ購ヒ其ノ場ニテ煙草ニ火ヲ點ケ隙

警察ト打合ハサシメタルカ楊主席ハ陳秘書ヲ本官ノ許ニ派  
シ遺憾ノ意ヲ表スル所アリタリ  
支、北平、在支各總領事、厦門へ轉電シ沙市、宜昌、重慶  
長沙、九江、鄭州へ暗送セリ

498 昭和11年9月22日 有田外務大臣より  
在中國川越大使、在漢口三浦總領事他  
宛(電報)

漢口邦人巡査射殺事件の發生に際しわが方居  
留民の保護および輕率妄動取締方訓令

本省 9月22日發

合第七三三號

排日取締要求方等ニ關シテハ往電合第七一三號ニ依リ夫々  
適當ニ措置セラレタル結果九、一八記念日取締ハ各地共略  
ホ實行セラレタル模様ナルモ其ノ後漢口ニ於テハ白晝警戒  
勤務ノ我制服警察官殺害事件ノ發生アリ今日ノ空氣ヲ以テ  
シテハ今後如何ナル事端ノ勃發ヲ見ルヤモ計リ難キ狀態ナ  
リ少數ナル人員ヲ以テ常ニ激務ニ當リツツアル貴館署員諸  
子ノ勞苦ハ大ニ多トスルモ此際格段ノ奮勵ヲ期セラレ其ノ

皇軍駐屯又ハ帝國軍艦差遣ノ場所ニ在リテハ一層之ト緊密ナル連絡ヲ執リ要スレハ民團若ハ民會ヲ動員スル等居留民ノ保護上遺憾ナキヲ期スルト共ニ一面苟モ事端發生ノ因ヲ爲スノ虞アル居留民ノ輕舉妄動ニ對シテハ嚴重取締勵行方此上ナカラ十分御配慮アリタシ爲念

訓令トシテ各公館ヨリ普通情報ノ通夫々轉報アリ度  
訓令トシテ廣東ヨリ汕頭ヘ轉電アリ度  
本電宛先 支、天津、北平、漢口、青島、濟南、廣東

499 昭和11年9月23日 在漢口三浦總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

漢口邦人巡査射殺事件に関する楊永泰湖北省  
主席との会談内容報告

漢口 9月23日前発  
本省 9月23日後着

第二八四號(至急)  
二十二日日本官楊永泰ヲ往訪シ吉岡事件ニ關シ午後三時半ヨリ七時半迄談判シタル要領左ノ通  
一、本官ヨリ本件ハ客年十一月中山兵曹射殺事件上海ニ起リ

保スヘキ旨申述ヘタリ  
二、右ニ對シ楊永泰ハ軍、政、黨各部カ抗日ヲ鼓吹セリト言フハ敢テ當ラス事實ハ全ク正反對ニテ各部ハ中央ヨリノ累次ノ命令ニ基キ外人殊ニ日本人ノ保護ヲ顧念努力シ日支國交ノ調整ヲ所期シツツアルモノナリ最近各地ニ於ケル不祥事件ハ必スシモ其ノ性質ニ於テ軌ヲ一ニセス夫々特殊ノ事情ニ依リ發生セルモノニシテ今回ノ事件ト雖犯人ヲ逮捕シ調査スルニアラサレハ其ノ性質將又果シテ計畫的ニ行ハレタルヤ否ヤモ判明セスト應酬シタリ  
三、依テ本官ハ其ノ論旨ノ誤謬ヲ指摘シタル後貴主席カ犯人ヲ逮捕スルニアラサレハ一切分明セスト言フ遣口ハ從來幾多ノ事件ニ於テ行ハレタルト同様ノ逃方ナルカスルル法ヲ以テ今回ノ事件ヲモ有耶無耶ニ葬リ去ラントスルコトハ最早日本ノ國民的感情ノ許ササル所ナリ今日本國民ノ憤激其ノ頂點ニ達シ日支國交ハ危殆ニ瀕シツツアリ故ニ貴主席ハ切メテ今回ノ事件ニ付誠意ヲ披瀝シ全責任ヲ負ヒ極度ニ緊張セル日支ノ關係ヲ緩和スルノ決意ナキヤ然ラスンハ今回ノ事件ハ延テ由々敷キ結果ヲ招來スルノ惧アルヲ言明セサルヲ得スト力説シタリ

テ以來今日迄七回ノ多キニ亘リ各地ニ發生セル重大不祥事件ニ相次テ勃發シタルモノニシテ兇暴ナル抗日「テロ」行爲ナルコトニ於テ其ノ軌ヲ一ニスルモノナルカ支那軍、政黨各機關ハ極メテ巧妙周到ナル用意、組織方法ヲ以テ支那民心ニ抗日意識ノ注入ニ努メ居ルハ顯著ナル事實ニシテ今ヤ熱烈ナル抗日氣分ハ支那全土ニ澎湃タルモノアリ兇惡ナル抗日「テロ」事件ノ相次テ起レルモ偶然ニアラス故ニ是等幾多不祥事件ハ勿論今回ノ漢口事件ノ責任ハ全然支那側ニアルモノト認メサルヲ得ス尙今次事件ニ付特ニ注意スヘキハ全然計畫的ニ行ハレタルコトニシテ殊ニ日本租界ニ近ツキ(脱?)支那ノ責任ヲ回避セントシタル巧妙ナル遣口ハ斷シテ看過スヘカラサル重要點ナルト共ニ之ニ依リ一層支那側ノ責任ヲ重且大ナラシムルモノナルコトヲ指摘シ之ヲ要スルニ本件ハ支那側ノ全責任ニ歸スヘキモノナルヲ以テ貴主席ハ全責任ヲ負ヒ  
(一)速ニ犯人ヲ搜查逮捕スルコト  
(二)今後スル兇暴ナル抗日「テロ」行爲絶滅ノ爲有效適切ナル處置ヲ現實ニ執ルコト  
ヲ要求シ且其ノ他ノ要求ハ後日之ヲ提起スルノ權利ヲ留

四、<sup>(3)</sup>茲ニ於テ楊ハ緊張セル面持トナリツツ本件ハ一刑事問題ニ過キスト抗辯シタルヲ以テ本官ハ右ハ根本的誤謬ニシテ本件カ重大ナル政治問題ナルヲ力説シ更ニ進ンテ軍、政、黨各部ノ全國ニ亘ル軍事訓練其ノ他ニ依リ内面的抗日運動竝ニ所謂抗日戰備ノ具體的事實ヲ列擧シ幾多ノ不祥事件殊ニ今次事件ノ導因ヲ爲スモノニ外ナラサルコトヲ強調シ全責任ヲ負ヒ誠意アル回答ヲ求ムル旨申述ヘタリ  
五、然ルニ楊ハ論旨ヲ變更シ本件ハ日本租界ノ出來事ナルニ付支那側トシテハ犯人ノ搜查逮捕ニ努力スルヲ以テ足レリトスト述ヘタルヲ以テ本官ハ之ニ對シ今次事件ノ根本且主要原因ハ前來述ヘタル所ニ依リ盡キ之ヲ以テ支那側ノ全責任ヲ問ヒツツアルモノニシテ租界ノ内外ト言フカ如キハ極メテ枝葉末節ノ問題ニ過キス  
<sup>(4)</sup>左リ乍ラ貴主席ニ於テ之ニ言及シ其ノ責任ヲ免レントシ居ルヲ以テ此ノ點ニ付見解ヲ明カニスヘシトテ元來擴張租界内ニアル外國人所有土地ニ付テハ所有者ノ同意アルニアラサレハ租界ニ編入シ行政權ヲ行使スルヲ得ス然ルニ兇行發生ノ地域ハ此ノ理由ニ依リ未タ租界ニ編入シ居

ラサルヲ以テ當然支那側ノ行政權下ニアリ(支那ハ支那全土ニ對シ包括的ニ主權ヲ有シ唯外國租界ノ行政權ノ現支那ニ行ハレル範圍ニ限り其ノ行政權ヲ排除セラルルモノナルヲ以テ擴張租界内ト雖日本行政權ノ行ハレサル部

分ハ總テ支那ノ行政權下ニアリ)ト説示シタリ  
六之ニ對シ楊ハ右ノ點ハ法理上ノ問題ニ屬シ深く研究シ居ラサルヲ以テ之ヲ後日ニ譲リ度シトテ豫テ用意シタル坂根總領事時代ノ公文ヲ持出シタルヲ以テ右ハ單ニ擴張租界ノ範圍ニ付支那側ノ照會ニ對スル回答其ノモノニシテ行政權ノ有無ニ言及シタルモノニアラスト撥付ケ更ニ楊ヨリ當時問題ノ地域ニ警察派出所ヲ設置セントシタルニ小川署長ヨリ拒絕セラレタル事實アリト述ヘタルニ付先

日市長ノ談ニ依リ徹底的ニ記録ヲ調査セルモ斯ル公文ヲ差出シタルコト絶對ニナキコトヲ發見シタルカ恐ラク右ハ支那官憲ノ誤解ナルヘシト應酬シタリ  
七、更ニ本官ヨリ當該地域ニ對シ支那側ハ巡警ヲ巡邏セシメ行政權ヲ行使シ居レル事實並ニ當該地域内ノ外國商社ニ對シ市政府ヨリ課金ノ支出ヲ要求シ又道路ノ修築ニ對シ分擔金ノ支拂ヲ要求シ居ル事實(英國總領事ニ確メタル

セリ詳細取調中ナルカ不取敢  
北平、在支各總領事、香港、厦門、汕頭へ轉電シ支へ轉報セリ

501 昭和11年9月23日 在上海若杉總領事より 有田外務大臣宛(電報)

上海日本人水兵狙撃事件の被害状況報告

上海 9月23日後発 本省 9月23日夜着

第四一三號(大至急)

往電第四一二號ニ關シ  
即死者出雲一等水兵田港朝光右腦部左肘部貫通負傷者同一等水兵八幡良胤右膊複雜骨折臍盲貫銃創同二等水兵出利葉義己左右上膊貫通銃創何レモ重傷  
前電通り轉電、轉報セリ

502 昭和11年9月24日 在上海若杉總領事より 有田外務大臣宛(電報)

上海日本人水兵狙撃事件発生に伴い海軍陸戦

所ニ依ル)ヲ指摘シ租界ノ内外ヲ以テ責任ノ所在ヲ云爲スルモ尙且支那側ニ全責任ノアルコトヲ説示シ茲ニ更ニ繰返シ我方ノ要求ヲ述ヘ誠意アル回答ヲ促シタルモ楊ハ犯人ノ捜査ノ協助ニ付全力ヲ盡スヘシト答フルノミニテ更ニ埒明カサルニ付其ノ反省ヲ促シ辭去セリ  
支、北平、在支各總領事、厦門、滿へ轉電シ重慶、宜昌、沙市、長沙、九江、鄭州へ暗送セリ

500 昭和11年9月23日 在上海若杉總領事より 有田外務大臣宛(電報)

上海において日本人水兵三名への狙撃事件が 発生し一名死亡について

上海 9月23日後発 本省 9月23日夜着

第四一二號(大至急)

廿三日午後八時二十分頃海寧路(吳淞路ニ近キ所)ニ於テ上陸散歩中ノ出雲乘組水兵三名ハ支那人ノ爲後方ヨリ拳銃ニテ狙撃セラレ内一名ハ即死、二名負傷(生命ニハ異狀ナキ模様)犯人ハ三、四名ト認メラレ内一名ハ其ノ場ニテ逮捕

隊が上海市内各所へ出動について

上海 9月24日前発 本省 9月24日前着

第四一四號(大至急)

往電第四一二號ニ關シ

一、事件發生直後當館ニ於テハ工部局「ジェラード」警視總監及市政府兪鴻鈞秘書長ニ對シ犯人ノ迅速逮捕竝ニ居留民保護手配方申入レタルカ一方陸戰隊ニ於テハ直ニ事件發生現場ヲ中心トシテ北部租界内一帯及租界外ニ於ケル邦人居住區域及共同防備協定ニ依リ日本側擔任區域(以上租界外道路問題ノ擴大地區ト略一致ス)ニ約三箇大隊ノ兵ヲ出動セシメ非常警戒ニ當リツツアルヲ以テ當館ニ於テハ右決定ト同時ニ領事團首席領事「ブレナン」及工部局「フェツセンテン」秘書長ニ對シ日本陸戰隊ハ事態ノ急迫ニ鑑ミ擔任區域ノ非常警戒ニ當ルコトトナリタル旨ヲ通告シ置ケリ

二、右陸戰隊ノ行動ニ關シ市政府兪鴻鈞ハ支那側ニ於テハ直ニ支那街ノ警戒ニ付充分手配濟ナルニ付日本陸戰隊武裝兵ノ支那街進出ハ中止サレ度キ旨申越シタルニ付當館ニ

於テハ居留民保護ノ任ニ當ル我方トシテハ緊急自衛措置トシテ自ラ日本人ノ居住スル區域ノ警備ニ當ラサルヲ得ストノ趣旨ニテ突放シ置キタリ

又居留民ノ保護及指導ニ關シテハ不取敢民團當局ヲシテ各自充分警戒シテ此ノ上不測ノ災ヲ受ケサル様充分注意スルコト及徒ニ輕舉妄動セサル様注意セシムルト共ニ(民團立學校ハ二十四日ハ臨時休校セシムル筈)「ローカール」新聞ノ誘導及外國新聞通信員等ニ對スル發表等ニ付テモ大使館並ニ海軍當局ト聯絡シ萬遺憾ナキヲ期シツツアリ

前電通り轉電、轉報セリ

503 昭和11年9月24日 在中国川越大使より 有田外務大臣宛(電報)

度重なる邦人遭難事件に鑑み第三艦隊司令長官が事態の根本的解決を促す強硬意見を海軍省中央へ提出について

上海 9月24日 前發 本省 9月24日夜着

究ヲ要スル點モアルヘキモ今日迄ノ對支交渉ニ於テ支那側カ我方中央部ノ態度ヲ手緩シト見居ルコトヲ考慮ニ入レ判斷スルニ大体ニ於テ時宜ニ適スル意見具申ニシテ少クトモ中央ニ於テ或程度ノ決意丈ケハ固ムルヲ要スルモノト思考スル次第ナリ

尙海軍ニ於テハ長江筋ノ警備ニ付テハ漢口ニ對シ明二十四日到着ノ増遣隊ヨリ五十名ノ陸戰隊ヲ増遣シ(北海ノ事態收拾ノ見込付カハ同地ニ集結セル軍艦ヲ増配シ得ヘシ)不取敢現地保護ニ當ラシムル外ハ目下ノ所其ノ他ノ地方ニ對シ特別手當ヲ爲ス意嚮ナキ模様ナルカ警備上ノ關係ハ種々アルヘキモ今日ノ政局ニ於テ漢口ノ居留民引揚ノ如キハ是非共避クルヲ要スルモノト認メラル此ノ點艦隊側ニハ充分意見開陳済

大臣、北平、天津、漢口へ轉電セリ

504 昭和11年9月24日 在上海若杉總領事より 有田外務大臣宛(電報)

上海日本人水兵狙撃事件の犯人を至急逮捕するよう上海市長へ申入れについて

第<sup>8</sup>八〇三號 本使發南京宛電報 第二六七號

上海發大臣宛電報第四一二號乃至第四一四號ニ關シ川越大使へ田尻ヨリ

事件ハ漢口ノモノト同一ノ動機乃至ハ背景ニ依ルモノト認メラレ(單ニ國內關係ニ止マルモノナリヤ或ハ國外ニ巨ルヤノ判斷ハ推測ノ範圍ヲ出テスの確ニハ爲シ得サル所ナルモ)目下現地事態ノ收拾ハ充分我方ノ掌中ニアル一方居留民ニ對シテモ總領事館ニ於テ手當シ輕舉妄動ヲ戒メ居ル處成都事件以來打重ナル此ノ種事件ニ對シ何日迄モ出先限リニテ當面ノ強硬ナル「ヂエスチャー」ヲ示スノミニテハ我方ノ企圖スル將來ノ保障ノ確立モ到底心許ナク

且此ノ際支那側乃至支那カ依ツテ以テ頼リト爲シ或ハ支那ヲ「バック」シ居ル國々ニ對シ機先ヲ制スルコト事態ノ根本的解決ヲ圖ル上ニ於テ必要ト認メラレ右様考慮ノ下ニ第三艦隊長官ヨリ中央ノ決意ヲ促ス爲相當強硬ナル意見ノ提出アリシコトハ海軍電ニ依リ御承知ノ通りナリ右ハ素ヨリ本二十三日貴大使ト張群トノ會見ノ結果如何ニ依リテハ考

上海 9月24日後發 本省 9月24日夜着

第<sup>8</sup>四二一號 往電第四一二號ニ關シ

本官今二十四日朝南京ヨリ歸任早速海軍側トモ打合ヲ遂ケタル後同日午前吳市長ヲ往訪シ

一、今次事件ハ租界内ニ發生セル事件ナリト雖中山、萱生兩事件並ニ其ノ後最近迄各地ニ頻發セル排日「テロ」行爲ニ鑑ミ我方ニ於テハ犯人ハ支那人ナリト確信シ居ル次第ニシテ一般在留民ハ目下極度ニ生命ノ不安ニ驅ラレ戦々兢々タル有様ナルニ付本件ニ關スル我方ノ正式要求ハ事情充分判明次第更メテ申入ルヘキモ本日ハ不取敢支那側ニ於テ工部局トモ聯絡シ至急犯人ノ逮捕並ニ在留民ノ保護ニ付一層適切ナル措置ヲ執ラレンコトヲ要求スル旨及右急迫セル在留民ノ不安状態ニ鑑ミ在留民保護ノ責任上日本海軍陸戰隊ハ緊急自衛ノ措置ノ已ムヲ得サルニ至レル旨申聞ケタリ

二、右ニ對シ吳ハ上海市長トシテ租界内ニ起リタルコトト雖充分責任ヲ感シ居ル旨ヲ述ヘテ先ツ本件ニ關スル遺憾ノ

意ヲ表示シ本官申入ノ犯人逮捕及在留日本人保護ノ二點ハ既ニ事件發生當時貴館員ヨリ秘書長宛申出ニ基キ充分手配済ナルモ尙一層努力スヘシト答ヘタリ  
三 吳ハ陸戰隊員ノ支那街進出ハ支那民衆ノ誤解及恐怖ヲ起サシムルモノナルニ付海軍側ヲシテ停止セシメラレ度シト述ヘタルニ付本官ハ我方ノ緊急自衛措置ハ在留民保護上ノ必要ニ出テタルモノニシテ支那側ノ徹底の排日取締困難ノ爲今日ノ如キ不安ノ情勢ノ下ニ於テ到底之ヲ停止スルヲ得スト突撥ネタルカ吳ハ更ニ租界外ノ警備カ租界内ヨリモ嚴重ナルハ了解ニ苦シムトテ支那街警備ノ緩和方懇願的態度ニ出テタルニ付本官ハ緊急自衛の措置ハ租界タルト租界外タルトヲ問ハズ邦人居住區域ニ行ハルルモノニシテ日本側ハ本件「テロ」カ支那人ノ行爲ナリト確信シ居ルノミナラス其ノ犯行カ制服ヲ着ケタル水兵又ハ巡查等ヲ狙フニ鑑ミ支那軍隊乃至便衣隊等ノ所爲ニアラスヤトノ疑念モアリ又租界内外警察能力ノ差異等モアリ旁我方ニ於テ租界外邦人保護ニ特ニ注意ヲ拂フハ當然ノコトナリト應酬シ置キタリ(本二十四日市長ヨリ公文ヲ以テ同様趣旨申越シタルモ握濱シ置ク方針ナリ)

意ヲ表示シ本官申入ノ犯人逮捕及在留日本人保護ノ二點ハ既ニ事件發生當時貴館員ヨリ秘書長宛申出ニ基キ充分手配済ナルモ尙一層努力スヘシト答ヘタリ  
三 吳ハ陸戰隊員ノ支那街進出ハ支那民衆ノ誤解及恐怖ヲ起サシムルモノナルニ付海軍側ヲシテ停止セシメラレ度シト述ヘタルニ付本官ハ我方ノ緊急自衛措置ハ在留民保護上ノ必要ニ出テタルモノニシテ支那側ノ徹底の排日取締困難ノ爲今日ノ如キ不安ノ情勢ノ下ニ於テ到底之ヲ停止スルヲ得スト突撥ネタルカ吳ハ更ニ租界外ノ警備カ租界内ヨリモ嚴重ナルハ了解ニ苦シムトテ支那街警備ノ緩和方懇願的態度ニ出テタルニ付本官ハ緊急自衛の措置ハ租界タルト租界外タルトヲ問ハズ邦人居住區域ニ行ハルルモノニシテ日本側ハ本件「テロ」カ支那人ノ行爲ナリト確信シ居ルノミナラス其ノ犯行カ制服ヲ着ケタル水兵又ハ巡查等ヲ狙フニ鑑ミ支那軍隊乃至便衣隊等ノ所爲ニアラスヤトノ疑念モアリ又租界内外警察能力ノ差異等モアリ旁我方ニ於テ租界外邦人保護ニ特ニ注意ヲ拂フハ當然ノコトナリト應酬シ置キタリ(本二十四日市長ヨリ公文ヲ以テ同様趣旨申越シタルモ握濱シ置ク方針ナリ)

際「ジエラード」ハ犯人ノ背後關係ハ不明ナルモ支那側ニハ判リ居ル筈ナリト思考スル旨述ヘ幾分支那側ノ不誠意ヲ諷シ居タリ

支ヘ轉報シ在支各總領事、北平、厦門ヘ轉電セリ

505 昭和11年9月28日 在漢口三浦總領事より 有田外務大臣宛(電報)

邦人遭難事件による居留民の動搖を防ぐため 官民連絡委員会を組織について

漢口 9月28日前発 本省 9月28日前着

第二九六號  
在留民側ニ時局ノ大體ヲ知ラシメ無用ノ動搖ヲ防クト同時ニ萬一ノ場合ニ機宜ヲ失セサラシムル目的ヲ以テ陸海軍側ト協議ノ上民團ヲ中心トシ各方面代表者ヲ網羅シ官民聯絡委員會ヲ廿六日組織セシメ指導ノ結果廿七日家族ノ引揚ヲ計畫シ居リタル三井、日本棉花等全部之ヲ中止セリ御參考迄

大臣、南京、重慶、宜昌、沙市、長沙、九江、鄭州ヘ轉電

四 尙吳ハ最近ノ日本人ニ對スル「テロ」陰謀ハ大体蔣介石反對者又ハ日支關係阻害ヲ目的トスル不逞分子ノ所爲ト認メラレ支那側ニ於テモ取締上甚タ困難ヲ感シ居ル點ヲ諒トセラレ度キ旨述ヘタルヲ以テ本官ヨリ此ノ點支那側ノ苦心ハ諒トスルモ何レニスルモ犯行ニ對スル中央及市政府ノ責任ハ免レ得サル所ナリ若シ犯罪ノ動機カ右ノ如シト假定セハ此ノ際蔣介石カ國民政府トシテハ絕對ニ日本ト親善提携ノ方針ヲ堅持スルモノニシテ斯カル「テロ」行爲ノ如何ニ依リ右根本政策ハ左右セラルルモノニアラサル旨明確ニ國民ニ徹底セシムルノ措置ヲ講セラルルニ於テハ右「テロ」行爲ヲ斷念スルニ至ルヤモ圖ラレサル旨申聞ケタルニ吳ハ之ヲ首肯シ蔣介石ハ從來屢スカル聲明發出方ヲ考慮セルコトアリシモ其ノ都度日本側カ支那民衆ヲ刺戟スルカ如キ事件ヲ起シ其ノ機會ヲ失ハシメタルモノナリト愚痴ヲ述ヘ居タリ  
五 本官ハ更ニ同日午後工部局市參事會議長「アーノルド」(「フエツセンデン」)秘書長及「ジエラード」警視總監同席)ヲ往訪シ大体支那側ニ對スルト同様犯人ノ迅速逮捕並ニ居留民ノ保護ヲ要求シ「ア」ハ之ヲ了承セルカ其ノ

セリ  
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

506 昭和11年9月28日 在上海若杉總領事より 有田外務大臣宛(電報)

救国会の領袖檢挙を検討するなど上海日本人 水兵狙撃事件への措置振りにつき市政府秘書 長説明について

上海 9月28日前発 本省 9月28日前着

第四四〇號  
往電第四三九號ノ件申入ノ爲本廿七日館員カ市政府秘書長ト會見セル際尙ハ時局ニ關シ左記要領ノ談話ヲ爲シタル趣ナリ

一 今次水兵事件ニ際シ陸戰隊員ノ支那街進出ハ支那側トシテハ頗ル之ヲ重大視シ警備司令部側等ニハ相當ノ強硬意見アリタルモ吳市長ハ上海事變ノ轍ヲ踏ムヲ惧レ自己ノ責任ヲ以テ保安隊及公安局巡警ニ一律後退ヲ命シ陸戰隊員トノ接觸ヲ避ケシメ幸ニ不測ノ事件發生ヲ見サリシ次

第ナルカ日本側ニテモ市政府側ノ苦心ヲ諒察セラレ度シ  
(右ニ關シ本廿七日外交部駐滬辦事處周。珏。カ本官來訪ノ  
際本官ヨリ當地附近ニ於ケル支那側兵力集中等ノ流言ヲ  
指摘シ此ノ際支那側ニ於テモ此ノ種流言蜚語ヲ慎ミ市政  
府保安隊及警備司令等輕舉妄動シテ我カ陸戰隊ト事端ヲ  
起スカ如キコトナキ様夫々注意方警告シ置ケリ)

三、當地各界救國聯合會領袖李。公。漢。、章。乃。器。等ハ新聞記者乃  
至辯護士等ニテ相當ノ社會的地位ヲ有シ法律ニ觸レサル  
様巧ニ排日運動ヲ爲シ居ル者ニテ之カ取締ニ苦心シ居タ  
ル次第ナルカ市政府トシテハ日本側ニ排日取締ノ誠意ヲ  
示ス爲重大決心ヲ以テ近ク彼等一味ヲ檢舉シ得ル口實ノ  
アリ次第彼等ヲ檢舉シ其ノ團體ノ撲滅ヲ圖ルコトナレ  
リ

三、最近當地日本新聞ハ時局ニ鑑ミ支那側カ上海附近ニ大軍  
ヲ集結シ對日戰備ヲ整ヘツツアルカ如キ宣傳ヲ爲シツツ  
アル處右ハ全然事實無根ニシテ徒ニ日本側民衆ヲ刺戟ス  
ルノミナルニ付是非取締方希望ス(日本側諸言取締ニ付  
テハ當方ニ於テモ充分注意シ居ル旨館員ヨリ答ヘ置キタ  
ル由)

ツアリトテ汪精衛、唐有壬ノ例ヲ引證シ且下全力ヲ擧ケ  
彼等一味ノ檢舉ニ努メツツアル旨縷述シタリ

(三)本官ハ輕ク之ヲ聞流シタル上最近頻發セル不祥事件ニ對  
シ日本ノ國論ハ沸騰シ國民ノ忍耐アルヲ見テ樂觀スル向ア  
ヲ指摘シ最近各方面稍平靜ノ感アルヲ見テ樂觀スル向ア  
ルモ右ハ思ハサルノ甚シキモノニシテ今兩國國交ハ重大  
ナル岐路ニ立チ危機ニ瀕セリ此ノ際大政治家ノ政治的考  
慮ト決斷トヲ必要トスル旨力説シタリ

(四)右ニ對シ楊ハ本官ノ好意ヲ謝シ兩國ノ關係カ更ニ緊迫セ  
ハ再ヒ意見ノ交換ヲ爲シ度シト述ヘタルニ付本官ハ今ハ  
既ニ其ノ餘裕ナキ迄ニ切迫シ居レルニ付日支關係調整ニ  
努ムル同志トシテ極メテ率直ニ申述ヘタル次第ナリトテ  
蔣介石ノ股肱トシテ善處ヲ促シタルニ楊ハ早速蔣介石ニ  
打電シ此ノ重大危機ヲ救フヘク最善ノ努力ヲ爲スヘキ旨  
答ヘ沈痛ノ面持ヲ以テ會談三時間餘ニシテ辭去シタリ

支、北平、在支各總領事、厦門へ轉電シ重慶、宜昌、沙市、  
長沙、九江、鄭州へ暗送セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

支へ轉報シ北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ

507 昭和11年9月29日 在漢口三浦總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

邦人遭難事件の続発に対し日中国交調整の観  
点から蔣介石の側近として善処方楊永泰へ申  
入れについて

漢口 9月29日後発  
本省 9月29日後着

第三〇〇號

(一)蔣介石「ブレントラスト」ノ一人タル楊永泰ノ現下時局  
ニ對スル認識ノ程度ヲ打診スル意味合ヲ含ミ自由ナル立  
場ニ於テ會談方申入レ置キタル處廿八日日本官ヲ來訪セリ  
(二)楊ハ先ツ日支間ノ大局論ヨリ説キ起シ兩國ノ經濟提携並  
ニ共同防共カ東亞ノ安定恒久ノ平和ヲ齎ス所以ナルヲ力  
説シタル後漢口、上海兩事件相次テ起リ事態頗ル重大ナ  
ルモ右ハ日支國交ヲ破壊シ且中央政權ノ打倒ヲモ企圖ス  
ル者ノ所爲ニシテ日支共同ノ敵タリ彼等ハ現ニ日本人ノ  
ミナラス日支國交調整ニ當ル支那要人ヲモ斃サントシツ

508 昭和11年10月1日 在漢口三浦總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

邦人遭難事件発生に際しても現地での商業活  
動継続を希望する邦商意向につき報告

漢口 10月1日後発  
本省 10月1日後着

第三〇六號

一、中央地方殊ニ湖北、湖南省ハ近年稀ナル豐作ニシテ當地  
邦商等ハ此ノ際積年ノ疲弊ヲ取返ヘサント意氣込ミ居レ  
ル矢先今回ノ時局トナレル次第ナルカ是等邦商ノ意嚮ヲ  
綜合スルニ大局ヨリスル國策ノ犠牲タルニ甘ンスルコト  
素ヨリ其ノ覺悟スル所ナルモ然ラサルニ於テハ出來得ル  
限り最後迄粘リ度シト言フニ一致ス

三、上流及當地婦女子引揚開始ノ報道並ニ二回ニ亘ル我特別  
陸戰隊ノ來着ハ痛ク當地外人側ヲ刺戟シタルカ如ク英、  
米、佛等ノ領事ハ二十九日來相次テ當館ニ駈着ケ真相ヲ  
尋ネ來リタルカ本官ノ説明ニ依リ大體納得セリ  
三、支那人側モ引續キ至テ平穩ニシテ異口同音ニ日支間ニ事  
ノ起ラサランコトヲ希ヒ豐年ニ依ル成果ヲ滿喫セント希

望シツツアリテ今日迄ノ處邦商側トノ取引往來モ平常ト  
何等異ラサル状態ナリ  
支、北平、在支各總領事、厦門へ轉電シ重慶、宜昌、沙市、  
長沙、九江、鄭州へ暗送セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ  
~~~~~

509 昭和11年10月4日 在上海若杉總領事より
有田外務大臣宛(電報)

中山事件をはじめとする上海での邦人遭難ニ
事件の一括解決を企図して海軍側と協議・作
成した対中要求事項案につき請訓

上海 10月4日後発
本省 10月4日夜着

第四五八號(極秘)
往電第四五〇號ニ關シ

中山、萱生及今次ノ水兵殺傷事件ニ關シ支那側ニ對スル要
求事項ニ付數回ニ亘リ海軍側(第三艦隊參謀長、陸戰隊司
令官、海軍武官等)ト協議ノ結果昨三日左ノ通り現地案ヲ
作成セリ(右案ハ貴電第一一三號中山事件ニ關スル御訓令

(六)連累者ノ迅速逮捕並ニ處罰

(七)市政府ニ警察事項ニ關スル邦人顧問ヲ僱聘セシムルコ
ト(追加)

本項ハ上海市ノミナラス全支ニ亘リ邦人多數居住ノ各
重要都市ニ適用セラルルコトヲ期ス

(八)賠償(追加)

金額ハ成都事件賠償ノ振合ニ依リ中央ニ於テ御決定ア
リ度シ

(イ)死亡者ニ對スル弔慰金

(ロ)負傷者ニ對スル治療費、見舞金

二、石射案ニ依ル越界路問題ハ電話問題ニ引懸リ未タ調印ノ
運ニ至ラサルコト御承知ノ通ナル處石射案ニ依ル越界路
區ヲ擴大スル案ハ相手方カ支那及工部局ナル爲三角關係
ヲ生シ事態ヲ紛糾セシメ解決容易ナラサルヘキハ石射案
ニ漕着クル迄過去數年ニ亘リ幾多ノ曲折苦心トヲ要シタ
ルニ徴スルモ明カナリ工部局側ハ「アーノルド」ノ本官
ニ對スル言ニ徴スルモ(往電第四五四號後段參照)財政上
ノ理由ニ依リ本問題ノ解決ヲセツツキ居ル次第モアリ電
話問題ハ越界路問題ヨリ切離シ日支間ノ問題トシテ此ノ

内容ニ其ノ後ニ起レル右ニ事件ヲ考慮ニ入レ増補ヲ加ヘタ
ルモノナリ)

二、往電第四二八號ヲ以テ申進ノ通り中山、萱生、田港等殺
傷事件ハ其ノ他各地ニ起レル諸事件ニモ鑑ミ之ヲ個別的
案件トシテ取扱ハス一併南京ニ於ケル對支交渉中ニ包含
セシメ一舉ニ解決ヲ計ル方妥當且得策ナリト思料セラル
要求條件左ノ如シ

(一)責任者ノ謝罪

(イ)國民政府ノ陳謝(追加)

(ロ)吳市長ノ陳謝

(二)責任者ノ處罰(追加)

蔡。公安局長ノ罷免

(三)越界路擴大地域ニ對スル要求

(後段ニ參照)

(四)排日取締ノ勵行

(五)犯人逮捕(特ニ田港水兵等殺傷事件)並ニ嚴罰(以上三
事件尙中山事件ニ付テハ第一審ニ於テ死刑ノ判決アリ
タルモ犯人ノ上訴ヲ豫想シ右判決ノ確定如何ニ拘ラス
本件ニ付テモ嚴罰ヲ要求スル必要ヲ認ム)(追加)

際中央ニ於テ解決スルコトトシ越界路問題ハ石射案ニ依
リ(但シ邦人總監補ヲ昇格セシメ副總監トシ英人副總監
ト併立セシムル案ヲ要求ス右案ハ工部局ニ對シテハ水兵
殺傷事件カ租界内ニ起レルコトニ言及要求ス)解決ヲ遂
クルコトトシ

擴大地域ハ工部局ノ介入ヲ避ケ支那側ノミヲ相手トシテ
要求解決スルコトトシ右擴大地域ニ付テハ左ノ二事項ヲ
要求ス

(イ)陸戰隊ノ同地域内ニ於ケル行動自由ニ付テハ支那側ヲ
シテ九月廿三日以降ノ「ステータス、コー」ヲ確認セ

シムルコト(同日以降陸戰隊カ闖北ノ一部ニ武裝兵ヲ
派出セルハ停戰協定ニ關聯スル所アリ我方ニ於テハ之
ヲ緊急自衛權ノ發動トシテ説明シ居ル處右状態ニ付永
續性ヲ認メシムルコトハ困難ナルヘキヲ以テ支那側ヲ
シテ現状ヲ確認セシムル必要アリ尙本問題ハ停戰協定
區域内鐵道ニ依ル支那軍隊通過ニ關スル實例ノ如ク日
支間交換公文ニ依リ解決スルコトトス)

(ロ)警察制度大綱ハ越界路警察ニ準シ總監ハ支那人、副總
監ハ邦人トシ日本人關係事項ハ邦人副總監カ全部之ヲ

處理スルカ如キ仕組トス

以上現地案ニ對スル政府ノ御意響至急御回示相成度シ尙
工部局ニ對スル要求條件ニ付テハ詳細案ヲ具シ二、三日
中ニ電稟ス

支へ轉報シ南京、北平へ轉電セリ

510 昭和11年10月9日 在漢口三浦総領事より
有田外務大臣宛(電報)

上海日本租界内に居住する中国人が続々と租
界外へ移転中との民団側情報について

漢口 10月9日夜發
本省 10月9日夜着

第三四八號

時局ノ影響ニ依ル當地方其ノ後ノ一般市況左ノ通

一緊迫セル時局ニ無關心ノ体ナリシ支那人方面ハ本月初上
海ニ於ケル恐慌状態ノ報道ニ刺戟セラレ不安ニ襲ハレ來
リタルモノノ如ク日本租界内居住支那人中ニハ客月未ヨ
リ本月初ニ懸ケ租界外ニ轉居ヲ開始スル者續出シ民團側
調査ニ依レハ八日ニ轉出セル者八十三軒アリ尙續々移轉

支ヨリ上海、商務官ニ轉報アリタシ

511 昭和11年10月23日 桑島東亞局長より
高須軍令部第三部長宛

上海日本人水兵狙撃事件に伴い出動したわが
方陸戦隊をめぐる上海市政府との応酬振りに
ついて

亞一機密合第四〇六一號

昭和十一年十月二十三日

外務省東亞局長 桑島 主計(印)

軍令部第三部長 高須 四郎殿

今次海寧路水兵殺傷事件ニ關シ陸戦隊兵ノ支那街
進出ニ關スル件

本件ニ關シ御参考迄ニ別紙送付ス

本信送付先 海軍省

(別紙)

昭和十一年十月十五日

在上海

スル模様ナリ轉居先ハ主ニ佛租界ナルカ支那街住居中
ニモ亦佛租界等所謂安全地帯ヲ求メテ移轉スル者アリ又
同仁會醫院ノ支那人患者ハ十月二日以來頓ニ減少シ從前
ニ比較シ毎日平均シ三分ノ一方ヲ減シタル由ナリ

ニ支那商人ノ邦商問屋筋出入ハ未タ目立タル程減少セサ
ルモ邦商側カ先物取引及掛賣ヲ手控ヘ居ル爲支那商カ通
貨不安ヲ見越シテ輸出品ノ賣進及輸入品ノ買進ヲ爲シツ
ツアル際ナルニモ拘ラス不安氣分ニ累サレ商談活潑ナラ
ス殊ニ最近ニ至リ出廻リ旺盛ナリシ牛皮、胡麻、麻等ノ
商談頓ニ減少セル趣ナリ又支那商人間ニ本邦銀行ノ手形
ヲ厭フ傾向現レ來リタリト

ニ滿洲事變ノ發生後所謂國難時期トシテ祝賀ノ行事ナカリ
シ國慶紀念日ヲ當地方ニ於テモ大々の慶祝ヲ行フコトト
ナリタルカ紀念日ニ小學校等ニテ貼出サルル爲用意セラ
レタル標語中ニハ國恥ヲ銘記セヨトカ或ハ又民族復興ノ
爲ニ奮發セヨ、國際間ノ自由平等ヲ要求セヨ等排日的宣
傳ノ文句アルモノモアルヤノ情報モアリ本件推移注意中
支、北平、在支各総領事、厦門ニ轉電シ重慶、宜昌、沙市、
長沙、九江、鄭州ニ暗送セリ

外務大臣 有田 八郎殿

總領事 若杉 要

今次海寧路水兵殺傷事件ニ關シ陸戦隊兵ノ支那街
進出ニ關スル件

客月二十三日海寧路ニ於ケル我水兵殺傷事件發生ト同時ニ
陸戦隊ハ共同租界協同防備協定ニ依ル日本側擔任區域及之
ト隣接スル支那街ノ一部(租界外道路問題ノ擴大地區ト一
致ス十月五日附機密第一二三八號往信附屬書參照)ニ兵員
ヲ出動セシメ非常警戒ニ當リ以テ今日ニ及ヒ居ル次第ナル
カ市政府側ニ於テハ右陸戦隊ノ行動ハ中國主權ノ侵害ナリ
トシ頗ル之ヲ重大視シ事件發生當夜夜半兪鴻鈞祕書長ヨリ
電話ヲ以テ寺崎領事(本官赴寧不在中)ニ對シ該陸戦隊兵ノ
即時支那街撤退方要求越アリ以テ翌二十四日本官吳市長ヲ
往訪シ本件犯人逮捕並ニ居留民ノ保護方等要求シタル際モ
吳ヨリ重ネテ該陸戦隊兵ノ即時撤退要求アリタルカ右兪及
吳ノ撤退要求ニ對シ寺崎及本官ハ中山、蒼生兩事件並ニ其
ノ後最近各地ニ頻發セル排日「テロ」行爲及今次水兵殺傷
事件等ニ依リ當地在留民ハ目下極度ニ生命ノ不安ニ驅ラレ
戦々恟々タル有様ニシテ右急迫セル在留民ノ不安状態ニ鑑

ミ在留民保護ノ責任上及兵員自身ニ對スル防衛上日本海軍陸戦隊ハ不得已緊急自衛ノ措置ニ出テタルモノナリトノ趣旨ヲ以テ應酬シ先方申出ヲ突放シ來リタルコト御承知ノ通りナル處市政府側ニ於テハ其ノ後更ニ九月二十四日附立ニ十月六日附公文ヲ以テ夫々別紙甲號及乙號(中國文書)ノ通り右陸戦隊員ノ急速支那街撤退方申越タルカ本件ニ關シ我方ニ於テハ前述ノ通り既ニ二回ニ亘リ口頭ヲ以テ回答濟ナル次第モアリ該公文ハ當分之ヲ握リ潰シ置キ更ニ催促アル場合ニハ追テ公文回答方考慮スルコトトセリ(以上ノ経緯ニ關シテハ今般來滬セル桑島東亞局長ニ詳細説明致シ置キタリ)然ルニ吳市長ハ本月十三日更ニ兪祕書長ヲ本官ノ下ニ派シ本件ニ付キテハ曩ニ支那側二回ノ公文抗議ヲ提出シ置キタル處實際上其ノ後日本陸戦隊員ノ警戒程度漸次緩和セラレタルヲ以テ支那側ニテハ右ハ前記抗議ノ結果ナリト解シ日本側ノ態度ヲ多シ居ル次第ナルカ最近調査ニ依レハ日本陸戦隊兵ハ更ニ其行動區域ヲ擴大シ本月十日及十三日ニハ夫々支那街西寶興路及八字橋附近迄巡邏シ居ル趣ノ處(陸戦隊警戒程度ニハ時々狀勢ニ應シ緩急ノ差アレト陸戦隊ハ事件發生後引續キ支那街ニ進出シ居リ撤退シタルコトナキ

ニ對シ一致協力シテ犯人ヲ逮捕スヘキコト並在留民ノ嚴密保護方命令セリ右貴國海軍ノ行動ハ貴總領事館ニ問合ハセノ結果純然タル居留民保護ノ爲ナル旨釋明アリタルモ事本國主權ニ關スルヲ以テ本市長ハ同意致シ難シ況ヤ本市府ハ居留民保護ノ點ニ就テハ既ニ責任ヲ以テ嚴重處理中ナルニ付本行動ハ一層必要無キ次第ナリ就テハ此段貴國海軍當局ニ御轉達相成速ニ上述陸戦隊兵士ヲ市政府所轄地區ヨリ撤退セシメ以テ誤會(解)ノ發生ヲ防止スル様致度尙何分ノ儀御回答相煩度此段得貴意候 敬具

中華民國二十五年九月二十四日

市長 吳鐵城

在上海日本總領事 若杉 要殿

(乙號譯文)

上海市政府公函字第七四八二號

拜啓陳者貴國ノ駐滬海軍ハ吳淞縣ニ於ケル日本水兵射殺事件發生後陸戦隊ヲ派遣シ市區ニ進入シ防禦工事ヲナシ哨兵ヲ配置セルカ爲本府ハ書面ヲ以テ貴總領事館ニ對シ速ニ此等ヲ撤退スル様海軍當局ニ轉達方申入レタル次第ナル處最

コト前記ノ通り)支那側トシテモ日本陸戦隊側ノ感情ハ充分諒解シ得ルモ事中國主權ニ關シ旁該地方ニハ市保安隊駐屯シ居衝突ノ惧アルヲ以テ市長ヨリ保安隊ニ對シ日本陸戦隊ト衝突ヲ避クル様嚴達濟ノ次第ハアルモ何時誤解衝突ヲ惹起スルモ計ラレサルニ付日本側ニ於テモ至急陸戦隊兵ノ支那街撤退方措置アリ度キ旨申越タルヲ以テ本官ハ前記我方態度及ヒ在留民ノ不安狀態ヲ説明シ陸戦隊側ノ自衛措置ハ已ムヲ得サル旨説示シ但シ陸戦隊ニ於テモ支那側保安隊又ハ公安局警官トノ衝突ヲ避クル様注意スヘキモ何ヨリ犯人ノ逮捕處罰及我在留民ノ不安除去ノ措置ヲ講スルコト緊要ナリト答ヘ置キタリ、右不取敢報告申進ス

(甲號譯文)

上海市政府公函字第七三八七號

拜啓陳者報告ニ據レハ昨夜租界内ノ海寧路、吳淞路ニ於テ貴國水兵射殺事件發生セルヤ貴國ノ駐滬海軍ハ陸戦隊ヲ派遣シ本府管轄區域内ニ進入セシメ防禦工事ヲ設ケ哨兵ヲ放チタル爲市民ハ頓ニ恐慌ヲ起シ謠言百出セリトノ趣ナルカ查スルニ昨夜不幸ナル事件發生ノ後本市長ハ直ニ所屬機關

近連日ノ報告ニ據レハ貴國兵士ハ市政府管轄境界内ニ依然踏留マレルノミナラス六三花園北面、何家屯日本製酒廠内ニ夫々機關銃掩護体一座ヲ築造シ居リ又狄思成路、天同路、沙涇港路、香烟橋、分水廟、胡家木橋等ノ個所ニハ依然時々日本海軍陸戦隊武裝兵士カ深く入込ミ巡邏シツツアリトノ趣ナルカ查スルニ上述各地點ハ均テ市區ノ範圍ニシテ甚タ市民ノ誤解ヲ起シ易ク又事本國ノ主權ニ關スルヲ以テ本市長ノ默視シ難キ所ニ有之仍テ茲ニ抗議ヲ提出スルニ付速ニ上記行動ヲ停止スル様海軍當局ニ轉達相成以テ速ニ常態ヲ回復シ睦誼ヲ敦フスル様致度尙本件處置振ニ關シ何分ノ儀御回示相成度此段得貴意候 敬具

中華民國三十五年十月六日

市長 吳鐵城

在上海日本總領事 若杉 要殿

512 昭和11年12月28日

在上海河相總領事より
有田外務大臣宛(電報)

董生事件犯人に対する判決について

上海 12月28日後発
本省 12月28日夜着

第六二〇號

往電第五六八號ニ關シ

中國法院ハ本二十八日萱生事件犯人ニ對シ左ノ通り判決言
渡ヲ爲シタリ
王振聲、毛永虎共同正犯トシテ死刑

金道權殺人教唆竝ニ豫備罪トシテ懲役十三年
趙雲鴻殺人教唆罪トシテ懲役十二年
朱貴生及陳恩明殺人豫備罪トシテ懲役二年
王汪氏兇器隱匿罪トシテ懲役二年
張馬氏兇器隱匿罪トシテ懲役一年
支へ轉報シ南京へ轉電セリ

四 華北問題

1 一般問題

513

昭和11年1月6日

在中國武藤大使館一等書記官より
広田外務大臣宛(電報)

満州国と冀察政務委員会との基本協定締結に
関する大橋満州国外交部次長提案を宋哲元委
員長が原則賛成について

北平 1月6日夜発
本省 1月6日夜着

第六號

滿發電報客年合第五八四號ニ關シ

四日來平ノ大橋外交部次長ハ五日宋哲元ト會見シ滿洲國政
府ト冀察政務委員會トノ間ニ滿發貴大臣宛電報客年第一〇
五八號末段ノ協定ノ締結方申入レタル處宋哲元ハ原則的贊
成ヲ與ヘタル由同次長ヨリ内話アリタリ宋哲元ノ眞意ハ遽
ニ測リ難キモ右不取敢

尙今後交渉開始ノ曉其ノ基礎トナルヘキ滿側試案三箇條ニ
付テハ當地陸軍武官ヨリ軍中央部へ打電シアルニ付軍側ヨ
リ御承知相成度シ追テ本問題ニ關スル本省ノ御方針本官心
得迄ニ御回示ヲ請フ

514

昭和11年1月8日

広田外務大臣より
在満州国南大使宛(電報)

満州国と冀察政務委員会との關係強化は日本側
關係方面が慎重検討して行うので大橋活動は右
に向けた空氣醸成にとどめるよう指導方訓令

本省 1月8日発

第七號(極秘)

北平發本大臣宛第六號ニ關シ

滿洲國ト北支政權トノ間ニ兩者關係ノ打開ヲ計ルカ如キ策
ヲ構スルコトハ場合ニ依リ我方北支問題解決促進策ノ一方
法トシテ考慮シ得ル所ナルモ交渉等ニ着手スヘキヤ否ヤ又